

平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	公式外交記録写真の保存業務	担当部局庁	外務報道官組織	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始・平成22年度終了	担当課室	報道課	課長 齊藤 純				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ-2 報道対策、国内広報、IT広報					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第15項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	過去の公式記録写真は大変貴重な外交記録であり、恒久的に保存していくべきものであるが、温度、湿度の管理等、その保管は非常に難しく、特に昭和40年代のネガフィルムともなると、フィルムベースの劣化、撮影画像の退色等、品質劣化を防ぐことは不可能でありデジタルデータに変換し保存する必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	過去に撮影した外交記録フィルムをデジタル・データに変換し、CD-ROM等の大量記憶媒体に記録し恒久的に保存する。デジタルデータに変換された写真は検索機能の付いたハイパーCDに記録することにより検索を容易にしている(平成12年以降デジタルカメラで撮影された写真はハイパーCD化している)。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	2	4	4	皆減	-	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	2	4	4	—		
	執行額		3	4	2			
	執行率(%)		155.4	97.6	55.6			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	フィルムで撮影された過去の公式外交記録写真の劣化・退色等に対応するためデジタルデータ化に変換し、恒久的に保存する。外交記録としてのCD数。		成果実績	枚	103	133	206	—
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ネガフィルムのデジタル変換数		活動実績 (当初見込み)	枚	14,944	29,532	12,260	—
	デジタルデータのCD化数				19,494	14,045	16,850	—
単位当たりコスト	ネガフィルムのデジタル変換(54 円/枚) デジタルデータのCD化 (105円/枚)		算出根拠	一般競争入札による単価契約				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
		皆減	—					
計	—	—						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度で保存業務終了により廃止。		
予算監視・効率化チームの所見			
—		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外 務 省
2百万円

↓

【一般競争入札】

A. 富士フィルムイメージテック株式会社
2百万円

[デジタルカメラ画像のハイパーCD化作業、ネガフィルム及びプリントからの電子化作業及びハイパーCD化作業]

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.富士フィルムイメージテック株式会社			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金等	人件費・機材費	2			
	計		2	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士フィルムイメージテック(株)	デジタルカメラ画像のハイパーCD化作業、ネガフィルム及びプリントからの電子化作業及びハイパーCD化作業	2	1	98.0